謡い方

観世流　重習
素謡現行（面　ワキ・ツレ）
素謡現水（面　ワキ・ツレ）正
素謡職業・職用
五〇分

【曲趣】「わが心慰めかねつ更科や姨捨山に照る月を見て」（古今集）の和歌を主題に、姨捨山に一人さみしく取り残された老女を描く。信濃国更科の里に三老女と称される最も深い曲の一つであり、本曲の老女の舞は他曲に見られない、太鼓入であるところに特徴がある。月に関しても昔を偲ぶ舞の袖を濡らされ、秋の姿々たる明月の霊光と人格化したものであり、神々しいまでの清高さがある。明月のもとに白衣の老女が、少しも悲しむことなく